令和４年度 ヴェールルージュ美容専門学校　学校関係者評価（令和５年６月７日実施）

１．教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価	自己評価結果	学校関係者評価委員からのご意見
①	教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4	建学の理念である「即戦力育成」のため、常に時代や業界のニーズに呼応したカリキュラムを企業と協同し改編している。美容業界のトレンドを見通し、適宜新たな授業を取り入れることで最先端の技術習得を目指している。	・概ね問題ない印象。
②	学校における職業教育の特色は何か	4	現役プロ講師による時代や職業現場に即した実践的なカリキュラムや授業のほか、実践力や人間力を育むための体験型実習や行事を数多く取り入れていること。	
③	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育理念や方針は、学生便覧に明記。表記の語句の解釈の難しさもあるので生徒には入学後に直接説明し指導。保護者には入学前に書面にてご案内し、周知徹底している。	

２.学校運営

①	目標に沿った事業計画が策定されているか	4	期末の運営会議において計画の見直しを実施し、次期計画策定に向け改善策を検討している。	・時代に沿う活動が必要。今後も継続をする。
②	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	組織体制に基づき、学校体制が明確にされており、意思決定においても速やかに行われている。今後もより迅速な意思決定による学校運営を継続させる。	・電子黒板の導入を検討してはどうか。 →数年前に検討したことをお伝え。その際は予算面で見送りとなったが、検討事項として残す。
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	IT 化を推し進めており、業務の効率化が図られている。学生に Gmail 用アカウントとパスワードを付与し、日々の連絡事項、検定やコンテストの参加確認、アンケート等に利用。勤怠管理システムも導入をした。	

３.教育活動

①	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	厚生労働省指定規則に則って編成しており、規則通り確実に遂行できている。	・サロン現場体験に参加できたことを評価する。 ・土曜日も教室の使用を許可している。生徒優先の活動だと感じる。 ・教員資格研修について、前向きに進めていただきたい ・部活や放課後対策等の参加に別途料金が発生していないことが評価できる。
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	4	当校の教育方針である「実践教育の実施」を基に、美容師養成施設標準カリキュラムに則り編成をおこなっている。後援会サロンにご協力頂き、フォトセッションの実施等、新しい取り組みも取り入れている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年度以降は校外活動を自粛していたが、昨年度は状況をみながら少しずつ再開。１年生全員がサロン現場体験に参加し、実際のサロンワークを学ぶことが出来た。 また、動画編集スキルを学ぶ授業等も取り入れ、時代に即した教育内容を常に意識している。	
③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	教育課程編成委員会を年２回、学校関係者評価を年１回実施し、意見や提案を参考にしてカリキュラムを検討・編成している。	
④	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	基準は明確であり、学則に記載されている。	
⑤	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	国家資格である美容師免許取得を目的としたカリキュラム編成となっている。試験対策講座や合宿・延長授業等を実施し、資格取得に万全の体制を整えている。美容師免許以外の資格取得も可能であり、一部説明会や対策授業を実施している。また、毎週木曜日の放課後に実施している部活動も可能な範囲で実施し、技術力向上に努めた。	
⑥	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	厚生労働省指定の専任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。教員には外部団体主催の研修参加機会と必修課目教員資格研修の機会を付与し、資格取得、知識・技術向上に努めている。	

４.教育成果

①	退学率の低減が図られているか	3	令和 3 年度は例年より退学者が多かったが、昨年度は低減。国家資格取得を必須としない分野に興味のある学生が辞める傾向にあるため、授業とは別にネイルやメイクに特化した時間を設ける等の対策を講じることを引き続き検討する。また、長期	・退学防止委員会の活動を評価する。必要な活動だと感じる。

			休暇明けに辞める学生が増えるため、休暇中及び休暇明けは特に学生対応に注意を払うようにする。 その他、引き続き出席状況や受講態度などに問題があった場合、各教員から学科長へ報告の上、必要に応じて個別面談を行い速やかに対処。退学防止委員会の運営を継続している。長期欠席等の問題のある学生は、保護者や臨床心理士とも連携しながら指導に当たり学業への復帰を促している。カウンセラーを増やすことも検討する。	・国家試験合格率について、早期対策の成果だと思う。
②	就職率の向上が図られているか	4	担任教員、キャリアセンター、学校後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催し就職活動を全面バックアップしている。新型コロナウイルスの影響により令和 2 年度以降、実施できていなかった活動があるが、昨年度は全て対面で実施できた。就職率の向上を目指し月別内定目標を設定し、月ごとの結果を取りまとめ、教職員内で共有化している。	
③	資格取得率の向上が図られているか	3	国家試験（実技）合格率 100%を達成することができた。筆記試験は残念ながら１名が不合格となったが、合格率 99.5%と高い水準を維持している。 美容師国家試験合格率 100%を目標として、国家試験対策室を主導に、学生一人ひとりへの個別指導や対策講座・合宿を実施している。一定レベルに到達していない学生を対象に延長授業を取り入れ、国家試験課題技術強化のため、週に１回の補習は引き続き実施。新たな取り組みとして１年生の春休みに補習も行った。 国家試験以外の資格取得についても、対策授業を実施し、合格率の向上に努めている。	

5.学生支援

①	社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	大学・短大の既卒者に向けた学費支援制度を設けている。	・進路、就職に関する支援体制は各部署の連携が必須である。 ・学費相談デスクの設置を評価する。コロナ禍等での対応も良かったと感じる。
②	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	担任教員、キャリアセンター、後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催しながら就職活動を全面的にバックアップしている。卒業生等からの情報を有効活用し、内定率向上に注力。またミスマッチを防ぐため個人面談を行っている。昨年は面談時間を例年より長くし、個性や希望条件に合った就職先のアドバイスをしている。美容部員及びブライダル企業向け合格対策授業も実施した。	
③	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任が窓口となり学生相談に対応することが多いが、場合に応じて、副担任や学年主任等も対応をしている。その他、校内にカウンセリングルームを設置し、カウン	

			セラー2 名体制で定期的に学生相談に対応している。また、身体に関する悩みや緊急を要する怪我などについては、学校長（医師）が対応している。	
④	学生の経済的側面に対する支援制度は整備されているか	4	日本学生支援機構、日本政策金融公庫などの公的制度の他、学校独自の奨学制度を設けている。(奨学金を活用した学費の分割払い制度や特待生制度等) また、修学支援新制度の対象校となっている。 学内の学費相談デスクに学費アドバイザーを常駐し、学費・奨学金に関する相談体制を整えている。「一誠美容師育成奨学基金」による返済不要の奨学金に採用された学生もおり、有益な情報を学生に提供することを心掛けている。	

6.教育環境

①	施設･設備は､教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。メンテナンス体制も整備しているが、一部老朽化が進んでおり、随時計画的に補修している。	
②	学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習については､毎年 11～12 月に希望者に対し海外研修を実施し、世界レベルのトップアーティストから学べるニューヨーク、ロンドン等での学校独自企画のプログラムを用意している。ニューヨーク研修は内容の見直しをして、世界レベルのカメラマンとのコラボレーションが実現したが、新型コロナウイルスの影響により 2 年間中止。令和 4 年度は 3 年ぶりに海外研修を実施できた。また、ロンドンへの校費留学も再開。学外活動も再開してきている。	
③	防災に対する整備はされているか	3	防火管理規程、校舎管理規程を定めて体制を示し、防災訓練等を実施している。災害時対応マニュアルを作成して教職員及び非常勤講師へ周知している。5 年毎に消火器の入れ替えをしており、今年度、校舎内全ての消火器入れ替えをした。	

7.学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は適正に行われているか	4	教育機関として節度ある学生募集活動を行っている。特に AO 入試は保護者または高校教員の承諾を必要とし、安易な合格内定による囲い込みは一切行っていない。また、高校側のスケジュールに合わせ必要書類を依頼し安心を得ている。オープンキャンパスでは対応職員を増やし、志望者の要望に合わせて個別対応を行い、正確な進路の指針を示すよう努めている。遠方にお住まいの方を対象に現地入試を継続実施。自宅から参加できる「WEB 個別相談会」も引き続き実施し、コロナ禍で来校することに不安がある方や遠方の方に多く参加していただいた。ここ数年は新型コロナウイルスにより大きな影響を受けたが、不慮の事態から新しい形を見出せた。	・現状の社会環境に沿った対応が良いと思う。 ・教材費はできるだけアップしないよう、今後も努力してほしい。

			次年度からWEB出願も始まり、時代にあった活動を継続実施していく。	
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率や求人倍率・就職内定率等のデータについては、最新の数字を学校案内パンフレットやホームページ等に公表している。卒業生の現場での就業状況等についても、事実を正確に伝えている。	
③	学納金は妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当な金額となっている。教材費は物価高による影響が大きいが、現時点では値上げではなく内容の見直しで対応をしている。入学後に必要な教材等の追加費用についても正確な金額を明示し、強制ではなく個人判断による購入を促している。	

8.財務

①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	毎期、大きな狂いは生じておらず、妥当と判断している。	・退学者が多い年もあったが、昨年度は減っている。継続し財務基盤の安定を継続してほしい。
②	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	入学生の定員を確保しており、財務基盤は安定している。退学者数も大きく影響を与えるため、退学者の減少が課題として残っている。	
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に実施している。	

9.法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	4	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。	
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	資料請求者、受験者、学生や卒業生および教職員等、学校が保有する個人情報に関し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。また5年毎にセキュリティーシステムをバージョンアップしており、対策を講じている。学校管理のSNSについては、掲載可否を事前に学生へ確認し、配慮している。 昨年度は委託先業者から当校学生の個人情報の漏洩が発生し、改善要求すると共に、業務取引の一時停止を行った。	
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	期末に自己評価を実施、問題点の改善に努めている。期中には教職員会議、学年会議、営業会議等を通じて常に自己点検を行い、問題・課題を早期に発見し、随時協議を行い対処している。その他、学校関係者委員会及び教育課程編成委員会を実施して、外部関係者の意見も積極的に反映するよう努めている。	

１０.社会貢献

①	学校の教育資源を活用した社会貢献を行っているか	2	開校当初より社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。チャリティや業界団体をはじめ、海外美容学校の研修受入れなど分野枠を超えた活動を実施している。チャリティ参加は定例化していたが、新型コロナウイルスの影響で、中止しており再開できていないものが多い。中学校への出張授業は継続実施している。	・コロナの影響も少なくなったので、活動の継続をお願いしたい。 （社会貢献活動もコロナ前の水準まで戻していってほしい）
②	生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	生徒の社会貢献に対する意識向上のため、高齢者への美容サービス、児童養護施設のイベント協賛など授業や学校行事にも取り入れている。生徒が自ら行う活動についても日常的に奨励・支援している。また学校周辺地区の活性化として、地域商店街の通行客に向けたイベントにてメイクサービス等を実施していたが、コロナ禍は中止していた。昨年度より徐々にイベントも再開し、地域活性化に貢献できた。	

１１.国際交流

①	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	教職員が生活・コミュニケーションや在留手続きの管理までサポートしている。また、日本人学生数名が個別に勉強や生活をサポートする体制を整備している。令和4年度は留学生1名が在籍していた。	・コロナの影響も少なくなったので、活動の継続をお願いしたい。
②	受入れ･派遣､在席管理等において適切な手続き等が取られているか	4	取次申請者が留学生の状況を個別に確認し、必要に応じ手続きを代行している。	
③	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	3	開校よりグローバル人材の育成を行ってきた結果として現在複数の卒業生がロンドン、ニューヨークなど世界の主要都市で美容師やヘアメイクアーティストとして活躍している。海外研修の際に海外で活躍中の卒業生と、将来海外で活躍することを目標としている学生へ情報提供を行っている。	